

2020

ノウフク
アワードNOUFUKU AWARD
2020

優秀賞

Prize for Excellence

一般社団法人松島のかぜ (宮城県松島町)

受賞理由 震災復興めざす

東日本大震災からの地域農業と水産業の復興に向けて同法人を設立しました。障害者の就労を確保し、安定化させています。多様な人びとの力によって地域の農業と水産業の再生を図っています。



概要 米・野菜・牡蠣を育てて売る

東日本大震災による障害者の失職と、離農による労働力不足を背景に、松島町と宮城県の指導のもと「一般社団法人松島のかぜ」を2013年8月に設立しました。定員20人の就労継続支援A型事業所として、農業と漁業を営む松島町の有限会社F・F磯崎に労働力を提供しています。

F・F磯崎が経営する田畑合わせた56畝の農地と、むき身10トンを生産する牡蠣養殖場で18人が働いています。宮城県庁の産直販売会で米や野菜を対面販売するほか、松島町内のスポーツ施設清掃作業、近隣の農家や牡蠣養殖業者からの委託作業も受けています。



成果 震災前レベルまで回復

＜農林水産業＞

・震災直後、農家数が減り、極端な労働力不足から地域農業の維持が困難でした。農業や漁業を営む有限会社F・F磯崎などへ障害者を定期就労させることで、地域の農業と漁業の産出額は震災前の水準に回復しました。

＜障害者等＞

・農業と漁業で年間を通して作業があり、利用者は5時間勤務で月7～10万円の工賃を得ています。

・産直販売会やホテルや飲食店への配達などを通じて、接客術を学び、これまで10名の一般就労者が誕生しました。優良な職業訓練の場として広く認知されています。

＜地域＞

・例年、F・F磯崎とともに松島灯籠流し花火大会、みやぎまるごとフェスティバルなどの地域交流イベントに出店や販売で参加し、地域活性化に大きく貢献しています。

ノウフク